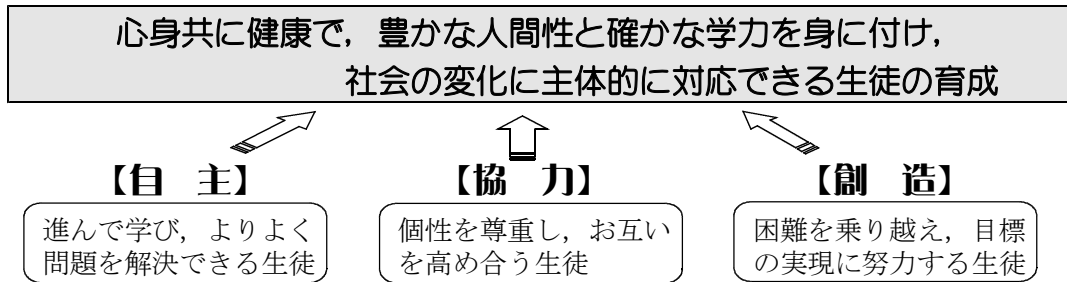


平成31年度 東仙台中学校経営方針

＜全ての生徒が誇りを持って生活・学習する活気ある学校を目指して＞

◎教育目標



◎重点目標およびその具体的方策

- (1) 一人一人をいかす学習指導：「基礎・基本」の確実な定着
 - ＜具体的な取組＞
 - ① 数学における少人数指導「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3コース
 - ② 学習遅延が心配される生徒へ、個別支援学習を実施し、「つまずき改善」「基本的学習スキルの定着」を図り、学習の途切れを改善する。 考査前学習会の活用
 - ③ 意見の異なる生徒同士の討論・討議の推進
 - ④ 体験や調べたことをまとめ、発表し合う学習活動の推進
 - ⑤ ICT機器を活用した資料作成及び発表学習の推進
- (2) 自己実現を目指す生徒指導：「豊かな人間性・正しい規範意識・社会に貢献する心」の育成
 - ＜具体的な取組＞
 - ① 三大行事「合唱祭・文化祭・継走祭」における生徒実行委員会による企画・運営
 - ② 基本的な生活習慣（あいさつ・授業規律・時間厳守）と規範意識の確立
 - ③ 教育相談の充実（いじめや不登校の未然防止・早期発見：毎月の生活振り返りアンケート）
 - ④ アルカス・生徒会を中心とした、奉仕活動・ボランティア活動を通じた地域との連携
- (3) 地域に開かれた学校運営：「行動連携」「双方互惠関係」の構築
 - ＜具体的な取組＞
 - ① 小中連携によるあいさつ運動・いじめ防止運動
 - ② 地域防災訓練・地域夏まつり等のボランティア活動
- (4) 資質向上を高める教職員の研修の推進：「活力あふれる教職員組織」の構築
 - ＜具体的な取組＞
 - ① 「見通す・振り返る」学習活動を位置付けた授業づくり
 - ② 校務支援システムC4th活用による効率化に伴う生徒との触れあい時間の確保
- (5) 家庭学習の定着化：「知識・技能」の習得 「学びに向かう力」の育成
 - ＜具体的な取組＞
 - ① 授業ノートと自主学習ノートの有効活用

◎協働型学校評価重点目標

到達目標		
「生命を尊重する心，他者を思いやる心，豊かな心の育成」 ～日頃のあいさつ・ボランティア活動を通して～		
具体的な姿		
○自他の良さに気付き，認め合い，信頼し，助け合う生徒 ○自分から進んであいさつや手伝い，ボランティア活動をする生徒		
重点目標実現のための三者の改善活動		
学校では	家庭では	地域では
○互いを認め合い，助け合う活動を多く取り入れる。 ○ボランティア活動の充実を図るとともに褒める。	○言葉を交わすようにし，かかわりを大切にする。 ○家庭で，身近な手伝いができるように工夫し，そして褒める。	○あいさつをはじめ，地域活動に取り組んでいる生徒を褒める。 ○学校との連携を密に，子供とともに取り組む。